

淀川の今後の河川整備について関係府県と意見交換 ～淀川水系関係6府県調整会議～

R2.7.14

河川部河川計画課

概要

淀川水系では、平成21年3月に淀川水系河川整備計画を策定して以降、約10年が経過し、河川整備計画に位置付けた整備内容が大幅に進捗してきた一方、平成25年洪水をはじめ頻繁に豪雨が発生しています。

また、淀川大塚切れ100年を契機に沿川自治体が一堂に会し、流域全体で河川整備のさらなる推進を求めるなど機運が高まっています。加えて、全国でも気候変動を踏まえた治水計画の見直しに関する検討が進められています。

こうしたことを踏まえ、淀川水系の更なる河川整備の方向性を調整することを目的に、関係府県と意見交換を行いました。

- 日時：令和2年7月14日（火）10:00～
- 場所：大阪合同庁舎第1号館
新館3階 A会議室
- 出席：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、
兵庫県、奈良県の部長等
近畿地方整備局河川部長



○淀川の今後の河川整備についての府県からの意見

(三重県)

- ・河川改修、川上ダム等の確実な整備の早期完成。
- ・気候変動の答申を踏まえ、河川整備計画の見直しの検討、流域全体による流域治水への方向転換の推進。
- ・狭窄部の存在、バックウォーター現象による被害も踏まえ、危機管理型ハード対策等の超過洪水対策の推進。

(滋賀県)

- ・琵琶湖沿岸の浸水を軽減・回避する対策の推進。
- ・瀬田川鹿跳改修、天ヶ瀬ダム再開発、大戸川ダムの早期整備。
- ・天ヶ瀬ダム、瀬田川洗堰の操作規則の見直し検討。
- ・琵琶湖の環境保全への連携。
- ・丹生ダム中止に伴う地域整備の推進、野洲川改修の推進、大津放水路2期の早期整備。
- ・気候変動を考慮した対策の推進、水防災意識社会再構築の取組強化。
- ・淀川水系河川整備計画の変更の検討。

(京都府)

- ・桂川嵐山地区における左岸溢水対策の早期完成。一の井堰の改築の実施。
- ・桂川の上下流（府管理区間を含めた）の安全度向上対策の実施。
- ・天ヶ瀬ダム再開発の令和3年度完成、宇治川・木津川の堤防強化対策の推進。
- ・河川維持管理の充実。

(大阪府)

- ・阪神なんば線橋梁架け替え事業の推進、毛馬排水機場の更新の加速化。
- ・広域的な避難体制検討、多機関連携タイムライン策定に向けた協力。
- ・上下流バランスの堅持。

(兵庫県)

- ・流域全体における総合治水の推進、猪名川銀橋周辺狭窄部上流の早期浸水被害軽減に向けた下流の整備推進、一庫ダムの洪水調節能力の更なる向上、島の内地区の対策推進。
- ・水質事故時の緊急取水や水利用の合理化等における柔軟な対応。気候変動を踏まえた利水安全度の向上と渇水調整の円滑化。
- ・水利用の合理化や渇水調整の円滑化。
- ・樹木伐採や堆積土砂撤去等の適切な維持管理、避難判断に資する水位の未設定水位観測所での設定。

(奈良県)

- ・河川改修のハード対策の充実と加速。
- ・堆積土砂撤去等の適正な維持管理、良好な河川環境の維持、流出抑制対策の推進。
- ・気候変動を考慮したダム再生等の既存ダム活用の推進や設計基準の作成。

○淀川水系における更なる河川整備に関する意見交換

(三重県)

- ・狭窄部上流の対策について検討が必要。

(滋賀県)

- ・水系全体の治水安全度の向上の進め方は概ね理解。
- ・大戸川ダム、瀬田川鹿跳改修の事業推進。

(京都府)

- ・気候変動による影響を目標にどう見込むかは検討が必要。

(大阪府)

- ・上下流バランスを守ることを基本としていることは理解。
- ・計画を変更する場合の目標設定をわかりやすく示す工夫が必要。

(兵庫県)

- ・猪名川下流部河道掘削の早期完了。大阪府による安威川ダム整備の推進。
- ・一庫ダムのダム再生の実施。

(奈良県)

- ・宇陀川の改修、室生ダム・布目ダムにおけるダム再生の実施。

(整備局)

- 本日の会議において、関係府県・市町村のご意見を共有することができたと考えている。今後、各府県にて、本日の内容について検討願いたい。

【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局河川部 河川計画課
〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44 TEL:06-6942-1141（代表）

